

トピックス

■胆膵疾患センター開設

胆道癌・膵癌は診断が難しいうえに悪性度が高く、手術を行っても他の消化器癌に比べ生存率が低い現状があります。この課題を克服するために胆膵疾患センターを立ち上げました。当センター外科部門では肝胆膵高度技能指導医、高度技能専門医による高難度肝胆膵外科疾患の手術を継続して行っています。また、胆膵疾患センター内科部門には胆膵疾患に対するレベルの高い診断治療を行うことができるチームがあります。肝胆膵外科・消化器肝臓内科協力の下、他院では治療困難とされている胆膵悪性疾患の治療が行えます。

■転移性肝腫瘍

他院で切除不可能であると判断された症例が、我々の診断では切除可能なことがあります。切除できるか否か判断に迷われることがありましたら是非一度ご相談いただければ幸いです。豊富な肝切除症例を有している我々には多くの引き出しがあります。例えば内科との協力により切除+局所治療などを行い根治となる症例、複数回の切除により長期間お元気に過ごされている症例などがあります。化学療法が進歩により生存期間の延長は認めますが、根治は望めない現状です。諦めずに手術を行うことでお元な時間をできるだけ長く過ごしていただきたいと思います。

■他科との協力体制

消化器肝臓内科との連携のおかげで我々は安心して手術を行うことができます。患者さんの治療法に関しても外来が隣り合わせであることからほぼリアルタイムに相談ができる環境にあり、治療法の選択に長時間を要することがありません。また、最近高齢者の患者さんが多くなっていますが、麻酔科による緻密な術前診察によって安全な麻酔、手術が行えるシステムになっています。術後管理に関してもGICUによって24時間体制で重症患者さんの管理が行えています。このように、多くの科が存在し、かつ「丁度よい」規模であることから当院では肝胆膵外科の診療がスムーズに行われています。

CLINICAL REPORT 2022



関西医科大学総合医療センター
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER

肝胆膵外科

准教授

北出 浩章 肝胆膵外科、高度技能指導医、代謝栄養

講師

柳田 英佐 肝胆膵外科

肱川 健 肝胆膵外科、ヘルニア

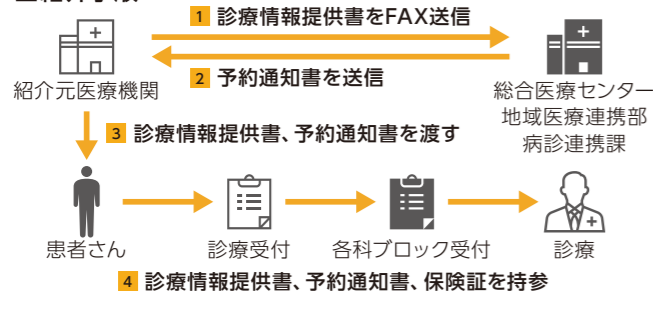
助教

石崎 守彦 肝胆膵外科、高度技能専門医

中竹 利知 肝胆膵外科

患者さんの紹介について

■紹介手順



1 診療情報提供書(紹介状)兼FAX紹介予約申込書にご記入いただき、【06-6993-9488】へ送信していただきます。

2 送信いただいた診療情報提供書(紹介状)兼FAX紹介予約申込書をもとに当院の患者IDを作成。予約をお取りして予約通知書をFAXいたします。

3 患者さんに診療情報提供書と予約通知書をお渡しください。

4 患者さんは診療情報提供書・予約通知書・保険証を持って、予約時間までに初診受付にお越しいただけます。

※診療科、診療日、医師の指定がある場合は、FAXにご記入ください。

※用紙請求については当院ホームページよりダウンロードいただくか、下部の連絡先にご連絡いただけますようお願いいたします。

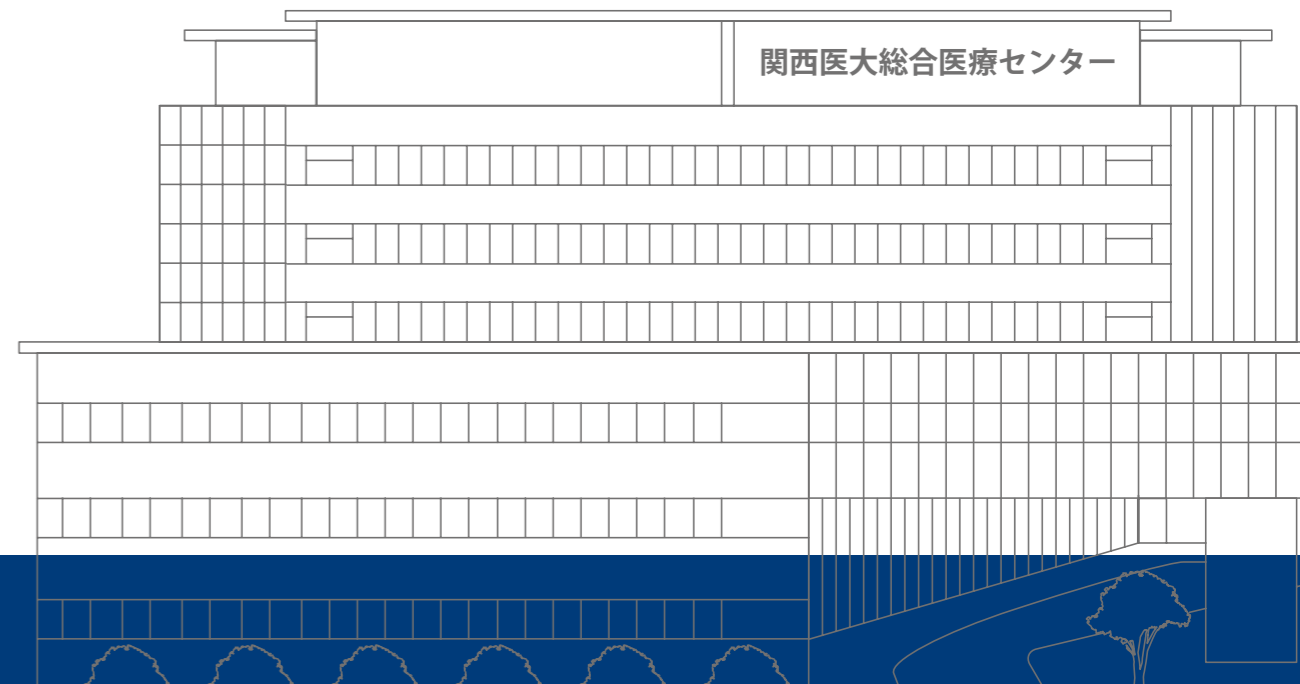
※受付時間 平日 8:30~20:00/第1・3・5土曜日 8:30~13:00/第2・4土曜日 9:00~13:00

〒570-8507 大阪府守口市文園町10-15

地域医療連携部 病診連携課

TEL:06-6993-9444 FAX:06-6993-9488 <https://www.kmu.ac.jp/takii/>

関西医科大学総合医療センター
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY MEDICAL CENTER



診療実績 (2021年度)

外来新患者数	254人	高難度肝胆膵外科手術	35件	膵全摘術	2件
外来延患者数	3,888人	肝切除術(2区域切除)	3件	幽門輪温存膵頭十二指腸切除術	5件
入院新患者数	257人	腹腔鏡下肝切除術(2区域切除)	1件	膵頭十二指腸切除術 (リンパ・神経叢郭清を含む)	12件
入院延患者数	4,033人	肝切除術(1区域切除)(外側を除く)	3件	膵頭部腫瘍切除術 (膵頭十二指腸切除)	1件
手術件数	227件	肝切除術(亜区域切除)	4件	膵体尾部腫瘍切除術 (リンパ節・神経叢郭清伴う)	3件
		肝門部胆管悪性腫瘍手術・ 血行再建なし	1件		

手術実績 227件 ※以下単位は件

肝疾患		胆膵疾患		膵疾患		脾疾患	
肝細胞癌	18	膵癌	21	肝門部胆管癌	1	脾膿瘍	1
転移性肝腫瘍	7	膵神経内分泌腫瘍	1	胆管癌	6	特発性血小板減少性紫斑病	1
肝内胆管癌	1	膵粘液性のう胞腫瘍	1	十二指腸乳頭部癌	2	脾悪性リンパ腫	1
良性疾患	3	転移性膵腫瘍	1	胆のう癌	10	ヘルニア・その他	60
		膵管胆管合流異常	1	胆石・胆嚢炎等	91		

高難度肝胆膵外科手術 35件 ※以下単位は件

高難度肝胆膵外科手術	35	膵全摘術	2
肝切除術(2区域切除)	3	幽門輪温存膵頭十二指腸切除術	5
腹腔鏡下肝切除術(2区域切除)	1	膵頭十二指腸切除術(リンパ・神経叢郭清を含む)	12
肝切除術(1区域切除)(外側を除く)	3	膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除)	1
肝切除術(亜区域切除)	4	膵体尾部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清伴う)	3
肝門部胆管悪性腫瘍手術・血行再建なし	1		

治療成績

近年肝胆膵悪性疾患の症例数が増加しています。また、良性疾患の増加もあり昨年度は年間227症例もの手術を当科で行いました。手術待機が長くなる傾向にあります。適切な待機時間となるように調整して行きたいと思っております(図1-2)。

手術症例数の推移

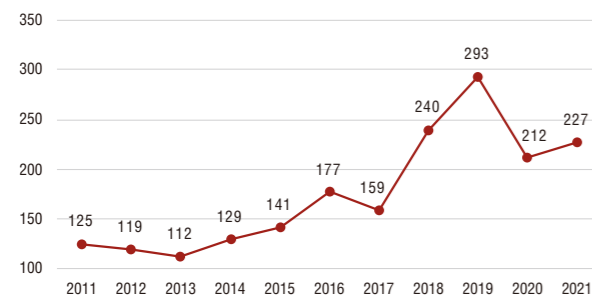


図1 手術症例数の推移

肝胆膵悪性症例推移

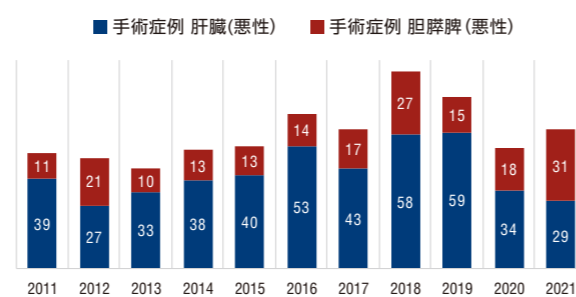


図2 肝胆膵悪性症例推移

診療アウトライン

肝胆膵外科は肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓領域の疾患を対象とする診療部門です。肝胆膵脾領域の悪性疾患を中心に良性疾患の治療も行っています。当院は大阪府肝疾患拠点病院に指定されており、肝臓疾患が非常に多いことが特徴で多くの大学附属病院と同等の肝細胞癌切除症例数があります。また、胆膵疾患センター開設以来、胆膵領域の悪性腫瘍症例が増加しています。高難度肝胆膵手術の割合も50%をこえています。「肝胆膵外科疾患の手術は関西医科大学総合医療センター肝胆膵外科へ行けば何とかしてくれる」という診療科です。

トピックス

■腹腔鏡下肝切除術

近年、腹腔鏡を用いた肝切除が普及してきています。我々も腹腔鏡を用いた肝切除が3~5割になっています(図3)。開腹による肝切除と比べて腹腔鏡下肝切除は侵襲が少なく、患者さんの回復が非常に早いという利点があります。大きな腫瘍や、高度癒着症例、解剖学的に難しい症例では従来の開腹による肝切除で安全性を確保していますが、徐々に適応を拡大しています。現在まで、腹腔鏡下肝切除術で重篤な合併症は認めていません。

腹腔鏡下肝切除の割合

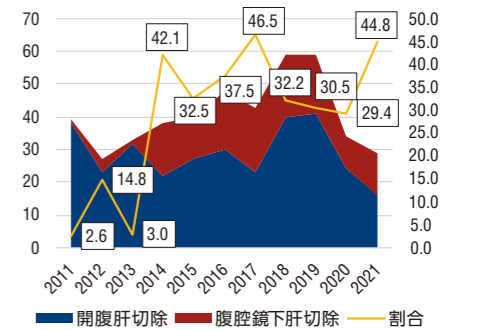


図3 腹腔鏡下肝切除の割合

■腹腔鏡下胆嚢摘出術

悪性疾患が疑われる症例以外では、ほぼ全例腹腔鏡下胆嚢摘出術の適応としています。待機手術では100%近くの症例で腹腔鏡下胆嚢摘出術が可能です(図4)。過去にClavien-Dindo分類Grade III以上の合併症は1例のみ(0.1%)で、胆道合併症は1例もありません。細径ポートを使用しており術後の傷はほとんどわかりません。

腹腔鏡下胆嚢摘出術

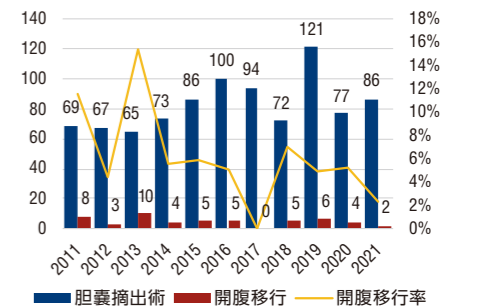


図4 腹腔鏡下胆嚢摘出術

■高難度肝胆膵外科手術

膵頭十二指腸切除術や肝右葉切除、肝3区域切除、肝門部胆管癌手術などの高難度肝胆膵外科手術を数多く手掛けています。2021年度はこのような高難度手術の割合が60%でした(図5)。一般病院では行えないような高度な手術を行うことで患者さん、開業医の先生方、市中病院の先生方に貢献することが我々の使命の一つであると考えています。また、術後再発症例に対しても切除で癌が取り切れる場合は積極的に切除を行っています。

高難度手術症例数

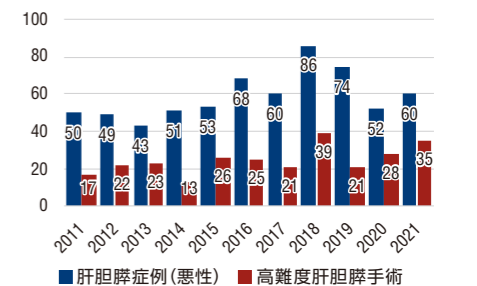


図5 高難度手術症例数